

Cente Technical Information

発行番号	101-0094	Rev	第1版	発行日	2016/04/21
題名	ハッシュによる検索時にCT_ENTRY_ERR(-71)エラーが発生する不具合について				
情報分類	障害情報				
適用製品	・Cente FileSystem Ver6.20				
影響API	fopen, fopen_uni, rename, rename_uni, move, move_uni, ct_vdivide				
関連資料	なし				

【現象】

ハッシュ機能有効時において、フルパス指定で且つディレクトリエントリ情報の変更を伴うAPIを実行すると、CT_ENTRY_ERR(-71)エラーが発生する可能性があります。

《発生条件》

以下全てを満たした場合に発生いたします。

- ・ハッシュ機能を有効にした場合。
- ・API実行時にハッシュテーブルにヒットした場合。
- ・フルパス指定のAPIを実行した場合で、その処理が対象ファイル/ディレクトリのディレクトリエントリ増加が伴う処理だった場合。
(※新規作成や削除処理のみの場合は発生いたしません)
- ・FAT12、16の場合はサブディレクトリの場合。
(FAT32の場合はルート、サブの両方において)
- ・対象ファイル/ディレクトリのディレクトリエントリ情報がエントリ領域の先頭クラスタ以外に存在する場合。
(ディレクトリエントリの数に1クラスタの範囲を超えている場合)

【原因】

次の関数内ではディレクトリエントリ情報の操作(検索/作成/削除)を行っておりません。

fs_dir.c : fs_find_dir_entry_sub

fs_dir_uni.c : fs_find_dir_entry_uni_sub

またファイル名の変更などにより、ディレクトリエントリ数が増える可能性がある場合には、本関数により空き状況の確認も行っております。

その際、ディレクトリエントリ領域の開始情報が正常であることを事前にチェックしていますが(ドット<>とドットドット<..>のエントリが正常に存在しているかを確認)、ハッシュテーブルの情報にヒットした場合に、操作開始領域がディレクトリエントリ領域の先頭とは限らないのにも関わらず、先頭であることを前提としたチェック処理を行っていたため、CT_ENTRY_ERR(-71)エラーが発生しておりました。

【回避方法】

■プログラム修正による回避方法

修正方法につきましては、弊社サポートまでお問い合わせ下さい。

以上